

クレジット・リスク・トレーニング

事業会社の格付け分析コース

開催日： 2020年1月22日（水） - 24日（金）（3日間）

研修費： 300,000円（税抜き）

会場： 都内会場

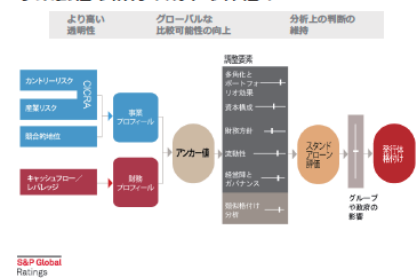
・ クレジット・リスク・トレーニングとは？

S&Pグローバル・レーティング（S&P）の信用力格付けが、実際どのような考え方と分析に基づき付与されているか、その分析手法と決定過程を包括的に学ぶ研修です。1999年に日本で初めて開催し、これまでの19年間で750名を超える参加をいただいております。

・ 研修はどのように行われるのでしょうか？

プログラムは、講義とグループ・ディスカッション、ケース・スタディで構成され、参加者20名程度の全員参加型の研修です。経験豊富なS&Pグローバル・レーティング・ジャパンのアナリストが講師を務めます。ケース・スタディでは、2-3の実際の事例を題材に、S&Pの事業会社格付けのフレームワークの基本である事業と財務プロフィール分析からアンカーの導出、調整要素とグループ格付け手法（買収先企業を含む）の分析、またイベント発生時の分析について学びます。小グループに分かれての模擬格付け委員会で議論して格付けを導出し、その後アナリストが解説とレビューを行います。

事業会社の格付け規準の枠組み



・ 研修を受けるとどのようなメリットがあるのでしょうか？

格付けの決定過程を包括的に学ぶことで、格付け符号の裏にある考え方や、格付け規準への理解、重要な格付け要素についてのS&Pの評価を知ることができ、S&Pの分析レポートの内容をより深く理解することにもつながります。また自身の見方との違いを明確化でき、様々な視点を取り入れることで、より深い企業分析につながります。S&Pの格付けはグローバルな比較可能性を目指しており、その格付け分析アプローチは自社の信用リスク管理の枠組みを構築するうえでのベンチマークとなるでしょう。

当研修は、S&Pのアナリストのみならず、参加者同志の交流のきっかけにもなり、今後のご自身の業務にも役立つこととなるでしょう。また、受講者は研修終了時に、S&Pの格付け手法を習得した証としてCertification（修了証）を受取ります。

・ どのような方が対象になるのでしょうか？

初歩的な企業の財務分析を経験した方ならどなたでも受講可能です。機関投資家、企業の財務、経営企画、銀行、証券等、業種は問いません。また、2013年11月に改訂した事業会社の分析フレームワークの習得を目的としていますので、過去に受講された方も対象となります。

S&P Global Ratings

お問合せ先

クレジット・リスク・トレーディングについての詳細は、広報マーケティング部までご連絡ください。

連絡先

S&P グローバル・レーティング・ジャパン株式会社
広報マーケティング部
03-4550-8780
mktg_japan@spglobal.com

Copyright © 2019 by Standard & Poor's Financial Services LLC. All rights reserved.

本サービスは、信用格付業以外の業務であり、信用格付行為に関連する業務としての「関連業務」にあたります。

本稿に掲載されているコンテンツ（信用格付、信用関連分析およびデータ、バリュエーション、モデル、ソフトウェア、またはそのほかのアプリケーションもしくはそのアウトプットを含む）及びこれらのいかなる部分（以下「本コンテンツ」といいます）について、スタンダード・プアーズ・フィナンシャル・サービスズ・エル・エル・シーまたはその関連会社（以下、総称して「S&P」）による事前の書面による許可を得ることなく、いかなる形式あるいは手段によっても、修正、リバースエンジニアリング、複製、頒布を行うこと、あるいはデータベースや情報検索システムへ保存することを禁じます。本コンテンツを不法な目的あるいは権限が与えられていない目的のために使用することを禁じます。

S&P、外部サービス提供者、およびその取締役、執行役員、株主、従業員あるいは代理人（以下、総称して「S&P 関係者」）はいずれも、本コンテンツに関して、その正確性、完全性、適時性、利用可能性について保証いたしません。S&P 関係者はいずれも、原因が何であれ、本コンテンツの誤謬や脱漏（過失であれその他の理由によるものであれ）、あるいは、本コンテンツを利用したことにより得られた結果に対し、あるいは利用者により入力されたいかなる情報の安全性や維持に関して、一切責任を負いません。本コンテンツは「現状有姿」で提供されています。S&P 関係者は、明示または黙示にかかわらず、本コンテンツについて、特定の目的や使用に対する商品性や適合性に対する保証を含むいかなる事項について一切の保証をせず、また、本コンテンツに関して、バグ、ソフトウェアのエラーや欠陥がないこと、本コンテンツの機能が妨げられないことがないこと、または、本コンテンツがいかなるソフトウェアあるいはハードウェアの設定環境においても作動することについての保証を含む一切の保証をいたしません。いかなる場合においても、S&P 関係者は、損害が生じる可能性について報告を受けていた場合であっても、本コンテンツの利用に関連する直接的、間接的、付随的、制裁的、代償的、懲罰的、特別なし派生的な損害、経費、費用、訴訟費用、損失（損失利益、逸失利益あるいは機会費用、過失により生じた損失などを含みますが、これらに限定されません）に対して、いかなる者に対しても、一切責任を負いません。

本コンテンツにおける、信用格付を含む信用関連などの分析、および見解は、それらが表明された時点の意見を示すものであって、事実の記述ではありません。S&P の意見、分析、格付の承認に関する決定（以下に述べる）は、証券の購入、保有または売却の推奨や勧誘を行うものではなく、何らかの投資判断を推奨するものでも、いかなる証券の投資適合性について言及するものでもありません。S&P は、本コンテンツについて、公表後にいかなる形式やフォーマットにおいても更新する義務を負いません。本コンテンツの利用者、その経営陣、従業員、助言者または顧客は、投資判断やそのほかのいかなる決定においても、本コンテンツに依拠してはならず、本コンテンツを自らの技能、判断または経験に代替させてはならないものとします。S&P は「受託者」あるいは投資助言業者としては、そのように登録されている場合を除き、行為するものではありません。S&P は、信頼に足ると判断した情報源から情報を入手してはいますが、入手したいかなる情報についても監査はせず、またデューデリジェンスや独自の検証を行う義務を負うものではありません。ある国の規制当局が格付会社に対して、他国で発行された格付を規制対応目的で当該国において承認することを認める場合には、S&P は、弊社自身の裁量により、かかる承認をいかなる時にも付与、取り下げ、保留する権利を有します。S&P 関係者は、承認の付与、取り下げ、保留から生じる義務、およびそれを理由に被ったとされる損害についての責任を負わないものとします。

S&P は、それぞれの業務の独立性と客観性を保つために、事業部門の特定の業務を他の業務から分離させています。結果として、S&P の特定の事業部門は、他の事業部門が入手できない情報を得ている可能性があります。S&P は各分析作業の過程で入手する非公開情報の機密を保持するための方針と手続を確立しています。

S&P は、信用格付の付与や特定の分析の提供に対する報酬を、通常は発行体、証券の引受業者または債務者から、受領することがあります。S&P は、その意見と分析結果を広く周知させる権利を留保しています。S&P の公開信用格付と分析は、無料サイトの www.standardandpoors.com、そして、購読契約による有料サイトの www.ratingsdirect.com および www.globalcreditportal.com で閲覧できるほか、S&P による配信、あるいは第三者からの再配信といった、他の手段によっても配布されます。信用格付手数料に関する詳細については、www.standardandpoors.com/usratingsfees に掲載しています。